

満福通信

まんぶくつしん

関東地方は、6月中に梅雨が明けました。観測史上初めてのことでそうです。その直後に発生した平成30年7月豪雨は、西日本を中心に大きな被害をもたらしました。亡くなられた多くの方のご冥福をお祈りすると共に、一日も早く日常の暮らしが取り戻せることを切に願っております。

忍者との出会い

剣術を事業の一つにしている我が社ですが、剣術がビジネスになるのかよく聞かれます。その気がなければビジネスにはなりませんし、その気があればビジネスになります。できるかできないかではなく、やるかやらないか。やると強く思えばそれを実現するアイデアが浮かんできます。あり方(あるべき姿)がわかればやり方(やるべき事)は自ずと明確になる。それが我が社の経営コンサルテ

ィングの肝です。

世の中には忍術をビジネスにする人もいます。「いつもあなたの生活に忍術を」をキャッチフレーズにする忍者青龍窟の五十嵐剛さんとの出会いは、私が剣術の研究稽古を受けている金山孝之先生との稽古会でした。金山先生と五十嵐さんは同じ師を持ついわば兄弟弟子。海外ではサムライ以上に人気のあるニンジャにあやかって剣術ビジ

ネスに忍術を取り入れたいと願っていた矢先の出会いでした。後日アポイントをとって今後の展開について話し合い意気投合。こうして剣術と忍術のコラボレーションが実現しました。この真剣を用いた試斬と忍術を体験できるイベントは8月にも予定しております。我々にしかできないこと、我々だからこそできることを今後も企画していきます。(太)

発想会議始めます

問題を解決する「達成会議」に加えて、未来を創造する「発想会議」を考案しました。達成会議が確立された手法を用いて解決策を導き出すのに対し、発想会議は「閃き」により予期せぬ意外な未来を導き出します。発想会議は差し迫った問題を解決するための達成会議に較べて自由でゆとりがあります。しかしながら悠長に構えてはせつかくのイノベーションの機会も解決しなくてはならない切羽詰まった喫緊の問題になってしまいます。つまり、発想会議は定期的開催される必要があります。過去への対処と未来への準備どちらに重きを置かが問われています。発想会議活用のシーンといえば新規事業、新商品、新サービス開発です。永続的な事業はありません。かつて流行った事業もいつか衰退します。その時に次なる新規事業が育っていないと組織の永続性は失われます。組織の永続性を担保するために常に新しい事業の種を撒き育てていく。それを仕組みとして社内に導入しませんか。(太)

ようこそ太仁亭 (tajin - tei) へ!

4月から畑を耕すようになり、近頃は雑草と暑さとの戦いになっています。一年目なので、どの程度の頻度で通えるか様子を見たいと思い、真夏の収穫が忙しくなる夏野菜は避けて、ハーブや染料植物、落花生等の豆類に加えてトウモロコシを育てています。(予定していなかったのですが、近くのスーパーの店先でもらったカゴメのジュース用トマト「凛々子」の苗だけは唯一の夏野菜です。)さて、こうして予防線を張ったはいいのですが、予想以上に畑に足を運べる日が少なく、結局雑草との戦いとなりました。

そして、梅雨が明けた7月初旬の酷暑の頃のこと。熱中症予防にと自家製の甘酒を番頭さん(=社長)に持たせたところ、作業後に飲んで「生き返った」とのメッセージがありました。そこで、今号

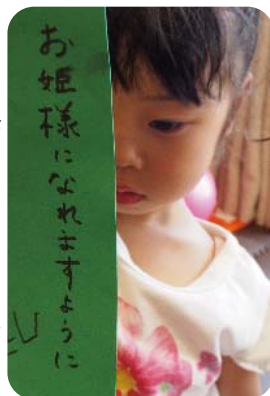
では甘酒を使った熱中症予防ドリンクをご紹介します。

☆熱中症予防の甘酒ドリンク☆
材料: 麴の甘酒 140g(約大7)
塩麴 小1/4~1/2
かぼす(レモン)果汁 大1.5~2
水 or 氷 50cc
作り方: 材料を全てカップに入れて混ぜる。

炎天下で温かいものは飲みにくいので冷たくしましたが、冷房の効いている室内で飲む場合は、お湯で割ったりレンジで少し温めれば胃腸への負担は軽くなります。また、かぼす果汁は太仁亭で常備しているのでレシピに掲載しましたが、レモン果汁でももちろん美味しく仕上がります。お好みで、また状況に応じて様々な飲み方を楽しんでください。(仁)

今月のお豆ちゃん

お豆ちゃんが通う保育園では、毎年願い事を書いた短冊を笹に飾らせてくれます。昨年までは、我々が予想してお豆ちゃんの願い事を決めていましたが、今年はお豆ちゃんに確認。「お姫様になれますように」とのことでした。両面あるので、欲張りな我々は裏面にも願い事を書きます。お豆ちゃんにもう一つの願い事を聞くと「お母さんがプリンセスになれますように」とのことでした。お姫様とプリンセス。お豆ちゃんの中で何かが違うようです。(仁)



酷暑の中で

見出しの写真は、家族でこどもの国へ遊びに行った時に撮影したもので、梅雨が明けた6月末に行って来ました。お目当ては園内にある牧場の「モーモードーム」。トランポリンのようなこの遊具でお豆ちゃんはひたすら弾んでおりました。炎天下で見守る親達は、痛いほどの陽射しを受けてぐったり。早々に撤収し、正面入口のらくがき広場で番頭さんがお豆ちゃんの似顔絵を描きました。(仁)

編集者: 後藤紅仁子

kuniko-goto@cocre.co.jp

発行日: 2018.7.9 小暑(しょうしょ)

温風至(あつかぜいたる)

発行所: 株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

https://ccore.co.jp/

過去号: ウェブサイト↑からご覧頂けます。

CONCEPTCORE